

チェックリスト（就学前）

記載日： 年 月 日

対象児(イニシャル)：	(男・女)	年齢： 才 ヶ月	クラス名：
-------------	-------	----------	-------

下記のそれぞれの質問項目について、「あてはまらない」「まあ、あてはまる」「あてはまる」のいずれかにチェックもしくは○を入れてください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。対象のお子さんのここ半年ぐらい、あるいはこの学年中の行動について答えてください。

子どもの強さと困難さ		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
1	他人の気持ちをよく気づかう			
2	おちつきなく、長い間じっとしてられない			
3	頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる			
4	他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）			
5	カッとなったたり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある			
6	一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い			
7	素直で、だいたいは大人の言うことをよくきく			
8	心配ごとが多く、いつも不安なようだ			
9	誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、進んで助ける			
10	いつもそわそわしたり、もじもじしている			
11	仲の良い友だちが少なくとも一人はいる			
12	よく他の子とケンカをしたり、いじめたりする			
13	おちこんでしずんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある			
14	他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ			
15	すぐに気が散りやすく、注意を集中できない			
16	目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす			
17	年下の子どもたちに対してやさしい			
18	よく大人に対して口答えする			
19	他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする			
20	自分からすすんでよく他人を手伝う（親・教師・子どもたちなど）			
21	よく考えてから行動することができる			
22	他の人に対していじわるをする			
23	他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ			
24	こわがりで、すぐにおびえたりする			
25	ものごとを最後までやりとげ、集中力もある			

下記の質問を読み、「いいえ」「時々」「はい」「わからない」のうち、あてはまるところにチェックもしくは○を入れてください。

感覚・運動面		いいえ	時々	はい	わからない
1	偏食がある。				
2	大きな音・特定の音（例：楽器、声）が苦手である。				
3	力加減が苦手である（例：物の扱いが非常に雑、強い力で物をつかむ、投げる）				
4	転びやすかったり、簡単にバランスを崩しやすい				
5	体が柔らかく、ぐにやぐにやしている				
6	体の動きが硬く、ぎこちない				
7	移動している時や遊んでいる時に、机や遊具に自分の体をぶつける				
8	かくれんぼの遊びで、他の子どもに見えないように隠れることが苦手である				
9	リズム感やタイミングが必要な運動が苦手である（例：スキップ）				
10	体操の時、手足・体の曲げ伸ばしが不十分だったり、動きの向きがずれることがある				
11	左右を間違える				
12	動いている物を追いかけてたり、捕まえたりすることが苦手である				

下記の質問を読み、「ない、めったにない」「ときどきある」「よくある」のうち、あてはまるところにチェックもしくは○を入れてください。

学習面		ない	ときどきある	よくある
音韻	同じカテゴリーの言葉集めがすらすら出てこない			
	音節削除の言葉遊びが難しい（「たぬき」の「ぬ」を抜いたらなに？）			
	周期的なリズムをもったタッピングが難しい			
	音節の想起が難しい（「らくだ」の最初の音は？）			
	指定の音で始めある単語の想起が難しい（「あ」で始まる言葉をたくさん言ってごらん）			
聞く	音の聞き間違いがある（「はな」を「あな」、「はんこ」を「はこ」など）			
	多音節語を正しく聞き取ることが難しい（「クリスマス」や「しんかんせん」）			
	ちょっとした雑音でも注意がそがれやすい			
	相手の話を聞いていないと感じられることがある			
	簡単な内容や質問でも、間違っ理解することがある			
	複数の指示だと、聞きもらすことがある			
	指示を聞き返すことがある			
	近く（個別）で言われれば理解できるが、遠く（集団）だと理解しにくい			
	聞いたことをすぐに忘れる			
	ゆっくり話されれば理解できるが、はやく話されると難しい			
話す	適切な早さで話すことが難しい（たどたどしく話す。とても早口）			
	発音しにくい音がある（「サ行」が「シャ行」に「ラ行」が「ダ行」になるなど）			
	発音しにくい語がある（「やらかい」→音の入れ替え「おとののこ」→音の誤り）			
	ことばを想起するのに時間がかかったり、ことばにつまったりすることがある			
	話すときに使う語彙の数が少ない			
	「行く」「来る」「あげる」「もらう」などの使用に混乱がある			
	明確な語を使わず、指示語を使う（「これ」「あれ」などの多用）			
	単語の羅列や、文が短いなどで内容的に乏しい（「やって」「紙」「トイレ」）			
	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい			
内容をわかりやすく伝えることが難しい				
数概念	多・少・等（同じ）の理解が難しい			
	長・短・等（同じ）の理解が難しい			
	さいころを使って遊べない			
	10までの数唱ができない			
	グループの人数を確認して、ものを配ることができない			

*当リストは、SDQ日本語版・京都府作業療法士会の「特別支援教育に活かす作業療法の知と技 改訂版」・2002年度に文部科学省における調査研究会が実施した「通級が学級に在籍する特別な教育的援助を必要とする児童生徒に関する全国実態調査」を元に作成しました。